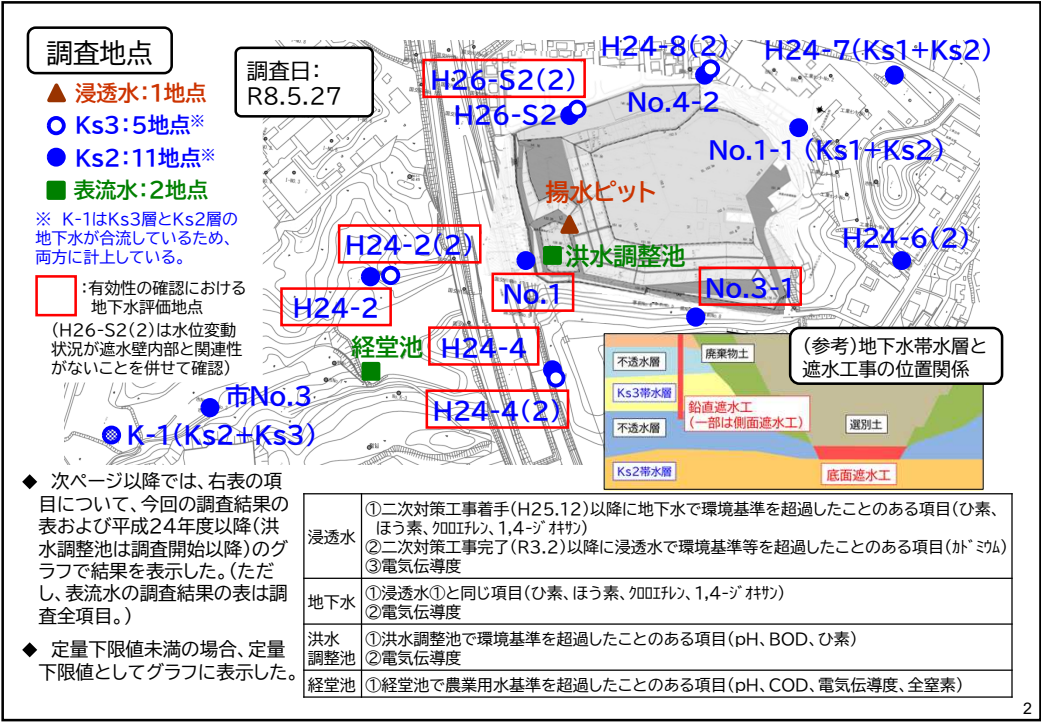


令和8年度第1回
モニタリング調査結果について

令和8年(2026年)9月14日

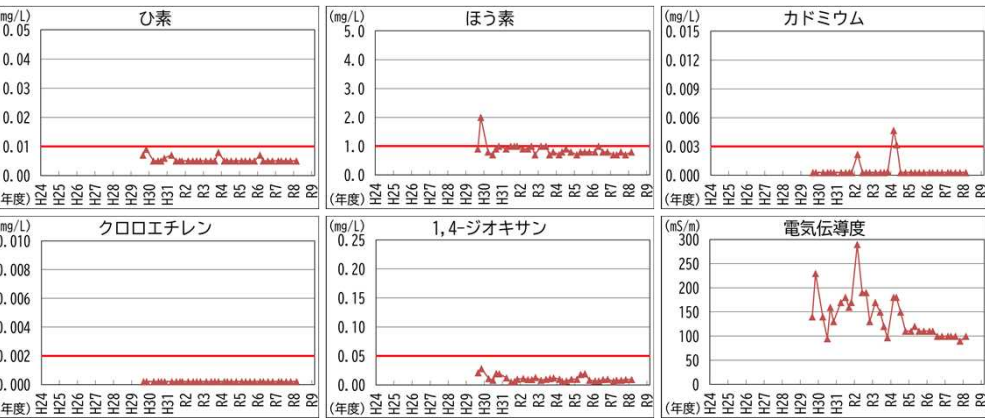
1



浸透水

位置図・グラフ凡例

▲ 揚水ピット



3

地下水(Ks3層)

位置図・グラフ凡例

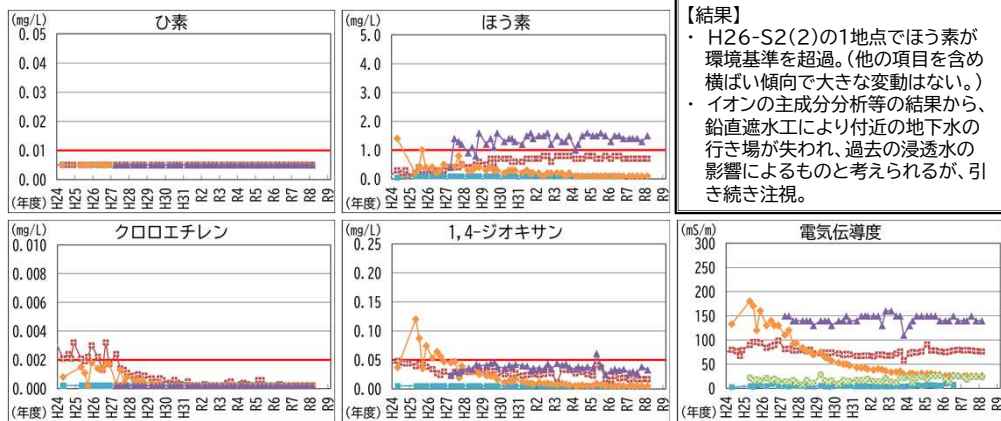
▲ H26-S2(2)

■ H24-8(2)

◆ H24-2(2)

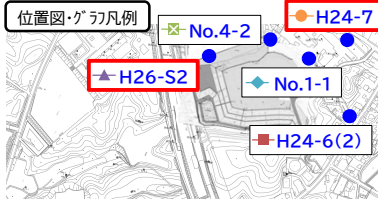
■ K-1

■ H24-4(2)



4

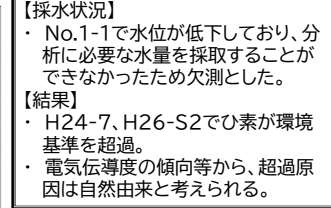
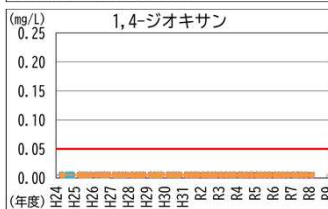
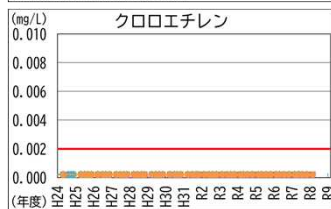
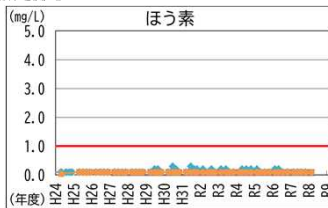
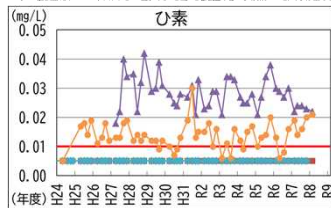
地下水(Ks2層①)



表の凡例:

表の凡例:		基準超過	基準以下検出	不検出			
		H24-7	No. 1-1	H24-6(2)	No. 4-2	H26-S2	環境基準
ひ素	mg/L	0.021	-	<0.005	<0.005	0.022	0.01
ほう素	mg/L	<0.1	-	<0.1	<0.1	<0.1	1
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	-	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	-	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
電気伝導度	mS/m	6.9	-	6.6	18	23	-

※ 平成24年度1回目の調査で基準超過した項目には下線を引いている。



【採水状況】

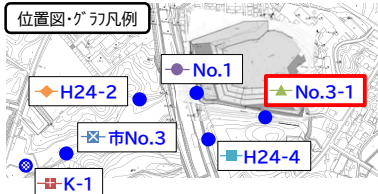
・ No.1-1で水位が低下しており、分析に必要な水量を採取することができなかったため欠測とした。

【結果】

・ H24-7、H26-S2でひ素が環境基準を超過。
・ 電気伝導度の傾向等から、超過原因は自然由来と考えられる。

5

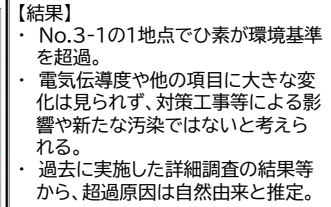
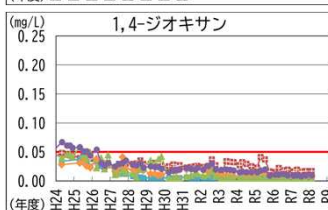
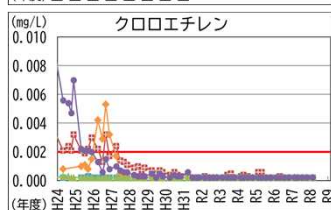
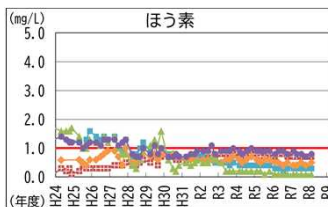
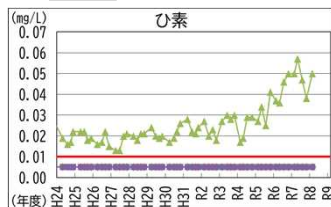
地下水(Ks2層②)



表の凡例:

表の凡例:		基準超過	基準以下検出	不検出				
		No. 1	No. 3-1	H24-2	H24-4	市No.3	K-1	環境基準
ひ素	mg/L	<0.005	0.050	<0.005	<0.005	-	<0.005	0.01
ほう素	mg/L	0.8	0.1	0.5	0.3	-	0.7	1
クロロフェン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	-	<0.0002	0.002
1,4-ジオキサン	mg/L	0.010	<0.005	0.006	<0.005	-	0.017	0.05
電気伝導度	mS/m	110	39	71	98	100	76	-

※ 平成24年度1回目の調査で基準超過した項目には下線を引いている。



【結果】

・ No.3-1の1地点でひ素が環境基準を超過。
・ 電気伝導度や他の項目に大きな変化は見られず、対策工事等による影響や新たな汚染ではないと考えられる。
・ 過去に実施した詳細調査の結果等から、超過原因は自然由来と推定。

6

表流水(洪水調整池)

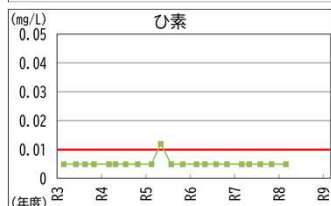
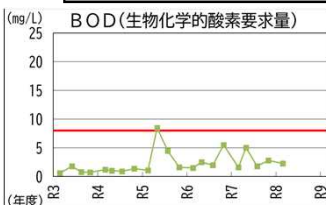
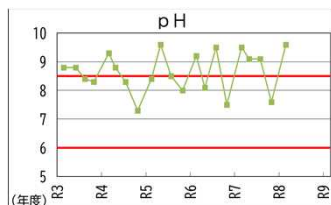
位置図・グラフ凡例



表の凡例: 基準超過
基準以下検出 不検出

【結果】

- ・ pHが環境基準を超過。
- ・ 電気伝導度に大きな変化はなく、調整池に藻が発生していることから、廃棄物による影響ではなく光合成による影響と考えられる。



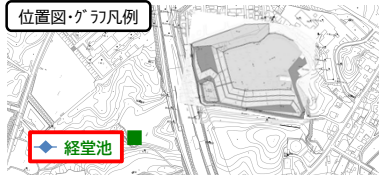
	洪水調整池	環境基準
pH	9.6	6.0~8.5
BOD(生物化学的酸素要求量)	2.3	8
COD(化学的酸素要求量)	8.9	※ (6)
SS(浮遊物質量)	<1.0	100
電気伝導度	11	※ (30)
カドミウム	<0.003	0.003
ひ素	<0.005	0.01
ふっ素	0.13	0.8
ほう素	<0.1	1
鉛	<0.005	0.01
総水銀	<0.0005	0.0005
PCB	不検出	不検出
トリクロロフェン	<0.001	0.01
テトラクロロフェン	<0.0005	0.01
1,1-ジクロロフェン	<0.002	0.1
1,2-ジクロロフェン	<0.004	-
ジス-1,2-ジクロロフェン	<0.002	0.04
トリス-1,2-ジクロロフェン	<0.002	-
ベンゼン	<0.001	0.01
クロロフェン	<0.0002	-
1,4-ジクロロベンゼン	<0.005	0.05
ダイオキシン類	0.06	1
鉄	0.17	-
マンガン	0.02	-
溶解性鉄	0.14	-
溶解性マンガン	<0.01	-
全窒素	0.37	※ (1)
全りん	<0.05	-
塩化物イオン	0.7	-

※ 環境基準にない項目については参考に農業用水基準(要望値)を表示。
※ PCBの環境基準は「検出されないこと。」

(不検出)であり、定量下限値未満(<0.0005mg/L)となることである。調査結果が定量下限値未満の場合「不検出」と表記した。 7

表流水(経堂池)

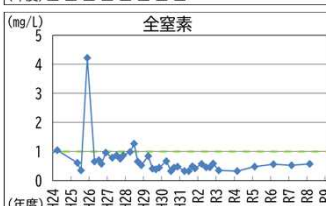
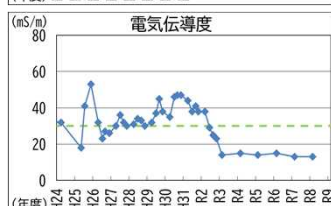
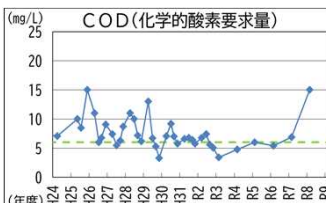
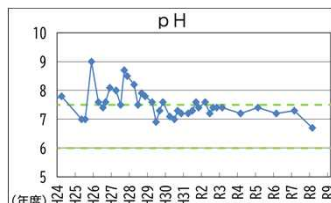
位置図・グラフ凡例



表の凡例: 基準超過
基準以下検出 不検出

※ 平成24年度の調査で基準超過した項目には下線を引いている。

※ 農業用水基準(要望値): 水稻の生育に影響を与える項目について、用水の取入口における水準として、昭和45年に農林省の公害研究会が策定したもの。



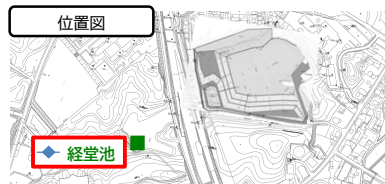
	経堂池	農業用水基準(要望値)
pH	6.7	6.0~7.5
BOD(生物化学的酸素要求量)	4.5	-
COD(化学的酸素要求量)	15	6
SS(浮遊物質量)	30	100
電気伝導度	13	30
全窒素	0.57	1
全りん	<0.05	-
塩化物イオン	4.6	-

【結果】

- ・ CODが農業用水基準を超過。
- ・ 池の調査のため、ポンプにより排水をされており、これまでと比べて水深が大幅に低下。採水地点を導水路から池内部に急遽変更。
- ・ SSが高いことから、採水時の底泥の巻き上げ等による影響を受けた可能性がある。

8

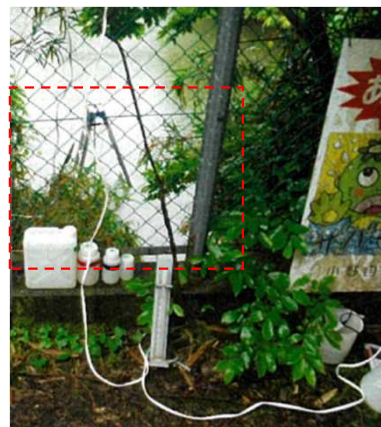
表流水(経堂池)の採水の様子



今回



従来



- ◆ 令和3年度以降流出出口付近(導水路)で採水を実施
- ◆ 栗東市による経堂池の形状調査のためにポンプによる排水が実施されており、水位が通常より大幅に低下していた。
- ◆ そのため、急遽、胴長を着用し流出口から池内部に進入し、採水を実施。(採水地点水位 0.45 m)
- ◆ 池内部進入時によるかく乱等の影響や大幅な水位低下により採水時に底泥を巻き上げた可能性がある。

9

調査結果一覧

試料名	測定項目	K12層を含む地下水										K2層を含む地下水										表流水		安定型無機炭素の濃度の基準	公共用水域環境基準	農業用水基準(要項)
		H24-8(2)	H24-12(2)	H24-12(2)	H24-4(2)	H24-7	No. 1-1	H24-4(2)	No. 4-2	H24-52	No. 1	No. 3-1	H24-2	H24-4	市No. 3	K-1	湧水調査地	経堂池	地下水	環境基準	地下水	環境基準	地下水	環境基準	地下水	環境基準
調査地点		H24-8(2)	H24-12(2)	H24-12(2)	H24-4(2)	H24-7	No. 1-1	H24-4(2)	No. 4-2	H24-52	No. 1	No. 3-1	H24-2	H24-4	市No. 3	K-1	湧水調査地	経堂池	地下水	環境基準	地下水	環境基準	地下水	環境基準	地下水	環境基準
採水年月日		88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27	88.5.27
採水時刻		9:15	15:35	11:43	11:35	9:51	11:59	15:05	9:20	10:42	14:20	10:35	11:42	13:30	14:47	10:40	9:25									
気温	℃	26.0	23.0	25.2	25.0	23.8	23.8	23.5	24.6	26.0	24.0	25.0	26.2	24.0	23.0	26.1	24.0									
水温	℃	25.7	16.6	19.1	17.3	17.5	19.2	15.5	20.2	20.3	19.6	18.1	18.7	15.9	15.8	25.1	21.0									
採水深度(GLより)	m	-	4.73	10.32	14.95	10.08	9.89	14.55	19.39	16.11	15.30	25.37	20.88	-	-	0.73	0.40									
pH		7.1	6.0	6.9	6.1	6.3	5.2	6.8	6.9	6.7	6.7	6.8	7.0	6.6	5.9	6.6	6.7									
溶解性無機炭素(CODMn換算)	mg/L	1.0	-	2.2	0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.7	0.8	<0.5	<0.5	0.8	-	0.5	2.3	4.5									
溶解性有機炭素(CODMn換算)	mg/L	7.4	-	13	2.0	3.2	0.7	1.4	1.6	11	3.4	6.3	3.2	-	6.7	6.9	15									
SS(浮遊物質)	mg/L	1.3	-	3.2	<1.0	<1.0	4.1	<1.0	<1.0	21.0	6.2	<1.0	<1.0	5.0	5.4	<1.0	38									
電気伝導度	mS/m	100	23	140	26	6.9	6.4	18	23	110	39	71	98	100	76	11	13									
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003									
ヒ素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.022	<0.005	0.050	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005									
銅	mg/L	0.32	0.24	0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.19	0.24	0.20	0.16	0.13	-	<0.08	0.13	-									
ほう素	mg/L	0.8	1.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.8	0.1	0.5	0.3	-	0.7	<0.1	-	-									
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005									
経水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005									
PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出									
1,2,4-トリクロロベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001									
1,2,4-トリクロロベンゼン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005									
1,1,2-トリクロロベンゼン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002									
1,1,2,2-テトラクロロベンゼン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004									
1,1,2,2-テトラクロロベンゼン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002									
1,1,2,2-テトラクロロベンゼン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002									
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001									
クロロベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002									
1,4-ジクロロベンゼン	mg/L	0.009	0.033	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.010	0.005	0.004	0.005	-	0.017	<0.005	-	-									
ダイオキシン類	mg/L	0.057	0.059	0.057	0.057	0.057	0.064	0.067	0.057	0.063	0.063	0.057	0.057	-	0.060	0.060	-									
鉄	mg/L	0.97	0.58	0.06	0.06	9.0	0.11	0.12	0.67	22	16	0.21	0.17	-	9.2	0.17	-									
マンガン	mg/L	0.38	3.2	0.22	0.64	0.64	0.05	0.74	0.54	3.0	1.9	0.31	6.4	-	0.44	0.02	-									
溶解性鉄	mg/L	0.18	0.18	0.04	0.23	0.23	0.04	0.04	0.57	10	13	0.11	0.10	-	3.6	0.14	-									
溶解性マンガン	mg/L	0.34	2.8	0.21	0.22	0.22	0.04	0.55	0.49	2.9	1.7	0.26	6.4	-	0.38	<0.01	-									
全窒素	mg/L	2.51	-	-	-	-	-	-	-	5.46	1.28	0.15	6.25	-	-	0.37	0.57	-								
アンモニア性窒素	mg/L	1.21	-	-	-	-	-	-	-	4.62	1.28	<0.05	6.05	-	-	<0.05	-									
硝酸性窒素	mg/L	0.91	-	-	-	-	-	-	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	-	<0.01	-									
全りん	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.05	<0.05	-	-	<0.05	-									
強化物質イオン	mg/L	52	13	94	25	4.0	1.7	4.1	3.2	64	18	42	10	64	63	6.7	4.4									

- ・PCBの地下水環境基準等は「検出されないこと。」(不検出)であり、定量下限値未満(<0.0005mg/L)となることである。
- ・調査結果が定量下限値未満の場合「不検出」と表記した。
- ・表流水の採水深度は水面からの深さを表す。

10

敷地境界ガス調査結果

調査地点

● 敷地境界: 4地点

調査日:
R8.5.27

表の凡例:

基準超過
基準以下検出
不検出

	E	N	W	S	基準
硫化水素 ppm	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02

※ 基準は悪臭防止法および栗東市生活環境保全に関する条例に定めるもの。

【結果】

・ 全地点で不検出であった。

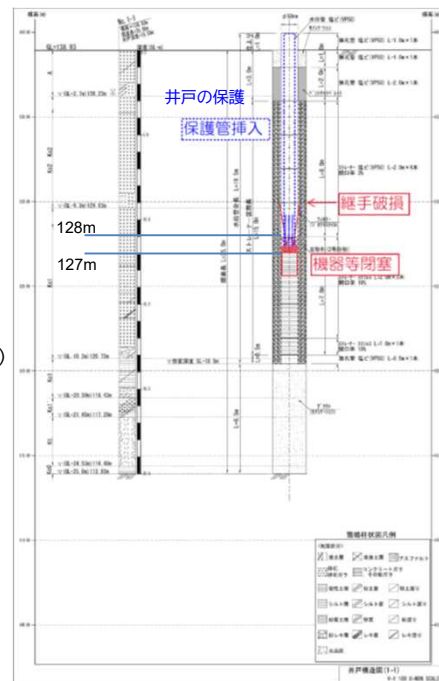
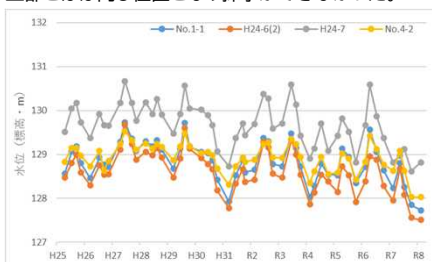
11

No.1-1の井戸孔内の状況について

- ◆ 令和4年10月ごろに機器と重りによる孔内の閉塞
令和4年度第4回調査より採水深度を機器の少し上に変更して調査を継続
- ◆ 機器閉塞以降、機器等の回収を複数回試みるが、失敗
- ◆ 令和6年1月にも機器等の回収を試みたが失敗し、機器を吊っているワイヤーの切断および継手を破損
十数 cmの隙間ができて、外に充填された砂利が崩れて孔内に入内
- ◆ 保護管(直径40 mm)を挿入し、井戸の保護を実施

No.1-1の水位変動について

- ◆ 機器閉塞以降の水位は128m(標高)を超える状況で推移してきたものの令和7年度第4回調査時には128m(標高)を初めて下回る状況となった。
- ◆ 今回調査時における水位はさらに低下し、閉塞した機器の上部とほぼ同じ位置となり採水ができなかった。



12